

## 5.2 災害情報と都市情報の重ね合わせ

防災指針の策定に当たっては、災害ハザードエリアそのものの整理に加え、居住・建物や都市機能、防災関連施設等の立地とハザードエリアの重ね合わせによる災害リスクの評価を行いました。調査項目は以下の通りです。

表 5-1 調査項目(都市情報との重ね合わせ、災害情報の分析)

No.	項目	分析の視点
1	洪水浸水想定区域(L2)×土砂災害(特別)警戒区域×建物階数、建物分布	垂直避難が困難なエリアがないか 家屋への危険性がないか
2	洪水浸水想定区域(L2)×指定避難所等	避難所が継続的に利用可能か
3	洪水浸水想定区域(L2)×都市機能施設	施設が継続的に利用可能か
4	洪水浸水想定区域(L2)×土砂災害(特別)警戒区域×人口分布	災害リスクがあるエリアにどれくらい居住しているか
5	洪水浸水想定区域(L2)×土砂災害(特別)警戒区域×交通(交通結節点、鉄道、バス)	公共交通の運行に支障が生じるおそれがあるか
6	洪水浸水想定区域(L2)×土砂災害(特別)警戒区域×アンダーパス×緊急輸送道路	避難路として活用可能か 集落孤立の危険性がないか
7	浸水継続時間×都市機能施設	施設が継続的に利用可能か 要配慮者・病人の生命維持に危険がないか
8	浸水継続時間×人口分布	長時間(72 時間以上)孤立可能性があるエリアにどれくらい居住しているか
9	浸水継続時間×緊急輸送道路	避難・救助、物資供給に活用可能か
10	浸水継続時間×指定避難所等	避難施設が長時間孤立のおそれが無いか
11	浸水継続時間×建物分布	家屋の浸水の影響がどの程度継続するか
12	家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食・氾濫流)×建物分布	家屋倒壊の危険性のある区域に家屋が立地していないか
13	令和元年東日本台風被害×建物分布	令和元年東日本台風で浸水した区域に家屋が立地していないか
14	土砂災害(特別)警戒区域×大規模盛土造成地	大規模盛土造成地の滑動崩落による居住誘導区域内への影響はないか
15	洪水浸水想定区域(L1)	-
16	洪水浸水想定区域(L1)×土砂災害(特別)警戒区域×建物階数、建物分布	垂直避難が困難なエリアがないか 家屋への危険性がないか
17	洪水浸水想定区域(L1)×指定避難所等	避難所が継続的に利用可能か
18	洪水浸水想定区域(L1)×都市機能施設	施設が継続的に利用可能か
19	洪水浸水想定区域(L1)×土砂災害(特別)警戒区域×人口分布	災害リスクがあるエリアにどれくらい居住しているか
20	洪水浸水想定区域(L1)×土砂災害(特別)警戒区域×交通(交通結節点、鉄道、バス)	公共交通の運行に支障が生じるおそれがあるか
21	洪水浸水想定区域(L1)×土砂災害(特別)警戒区域×アンダーパス×緊急輸送道路	避難路として活用可能か、集落孤立の危険性がないか

# (1) 洪水浸水想定区域(L2)×土砂災害(特別)警戒区域×建物階数、建物分布

## 1) 佐野エリア・佐野新都市エリア

居住誘導区域内の西部(秋山川左岸)<sup>\*1</sup> や南東部(新都市)<sup>\*2</sup> では、3.0m 未満の浸水、東端部(関川町)<sup>\*3</sup> では5.0m 未満の浸水、中央部(佐野駅周辺)<sup>\*4</sup> では0.5m 未満の浸水が想定されています。居住誘導区域内の洪水浸水想定区域には1階建ての建物が約2,200棟(居住誘導区域内の建物の約11%)立地しており、洪水時には垂直避難が困難になるおそれがあります。居住誘導区域外でも、市街化調整区域の集落や市街化区域において、洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域に多くの建物が立地している地域があり、洪水時には垂直避難が困難になるおそれや建物に被害が生じるおそれがあります。

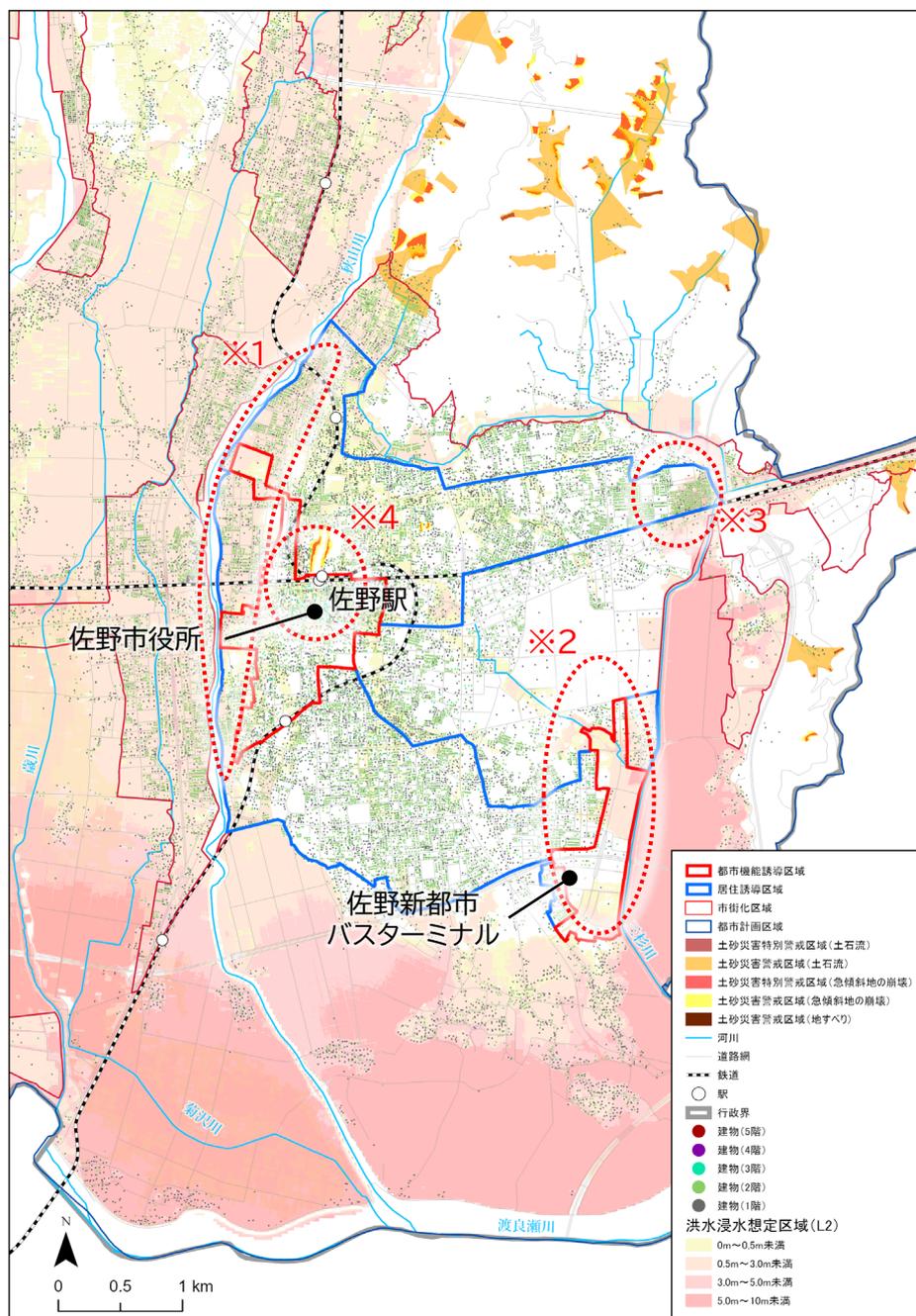


図 5-16 洪水浸水想定区域(L2)×土砂災害(特別)警戒区域×建物階数、建物分布 (佐野エリア・佐野新都市エリア)

## 2) 田沼エリア

居住誘導区域内の西部において、0.5m 未満の洪水浸水想定区域が存在し、居住誘導区域の西側※<sup>1</sup> や南側※<sup>2</sup> の区域界付近では 0.5m～3.0m 未満の洪水浸水想定区域が存在します。居住誘導区域内の洪水浸水想定区域には 1 階建ての建物が約 900 棟(居住誘導区域内の建物の約 19%)立地しており、洪水時には垂直避難が困難になるおそれがあります。

居住誘導区域外でも、市街化調整区域の集落や市街化区域において、洪水浸水想定区域に多くの建物が立地している地域があり、洪水時には垂直避難が困難になるおそれがあります。

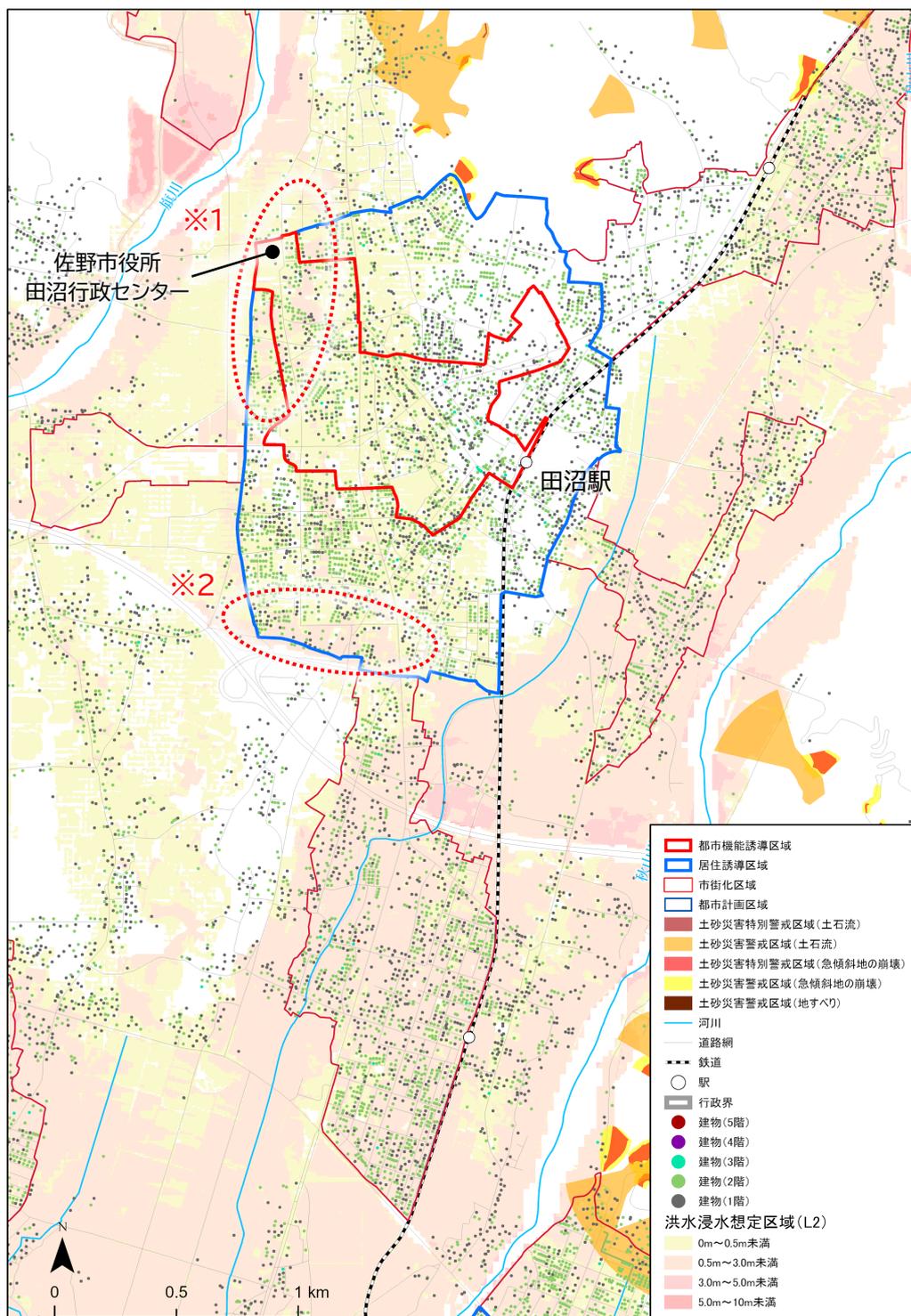


図 5-17 洪水浸水想定区域(L2)×土砂災害(特別)警戒区域×建物階数、建物分布(田沼エリア)

### 3) 葛生エリア

居住誘導区域内の南部において、3.0m未滿の洪水浸水想定区域に1階建ての建物が約700棟(居住誘導区域内の建物の約37%)立地しており、洪水時には垂直避難が困難になるおそれがあります。

居住誘導区域外でも、市街化区域において、洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域に、多くの建物が立地している地域があり、洪水時には垂直避難が困難になるおそれや土砂災害のおそれがあります。

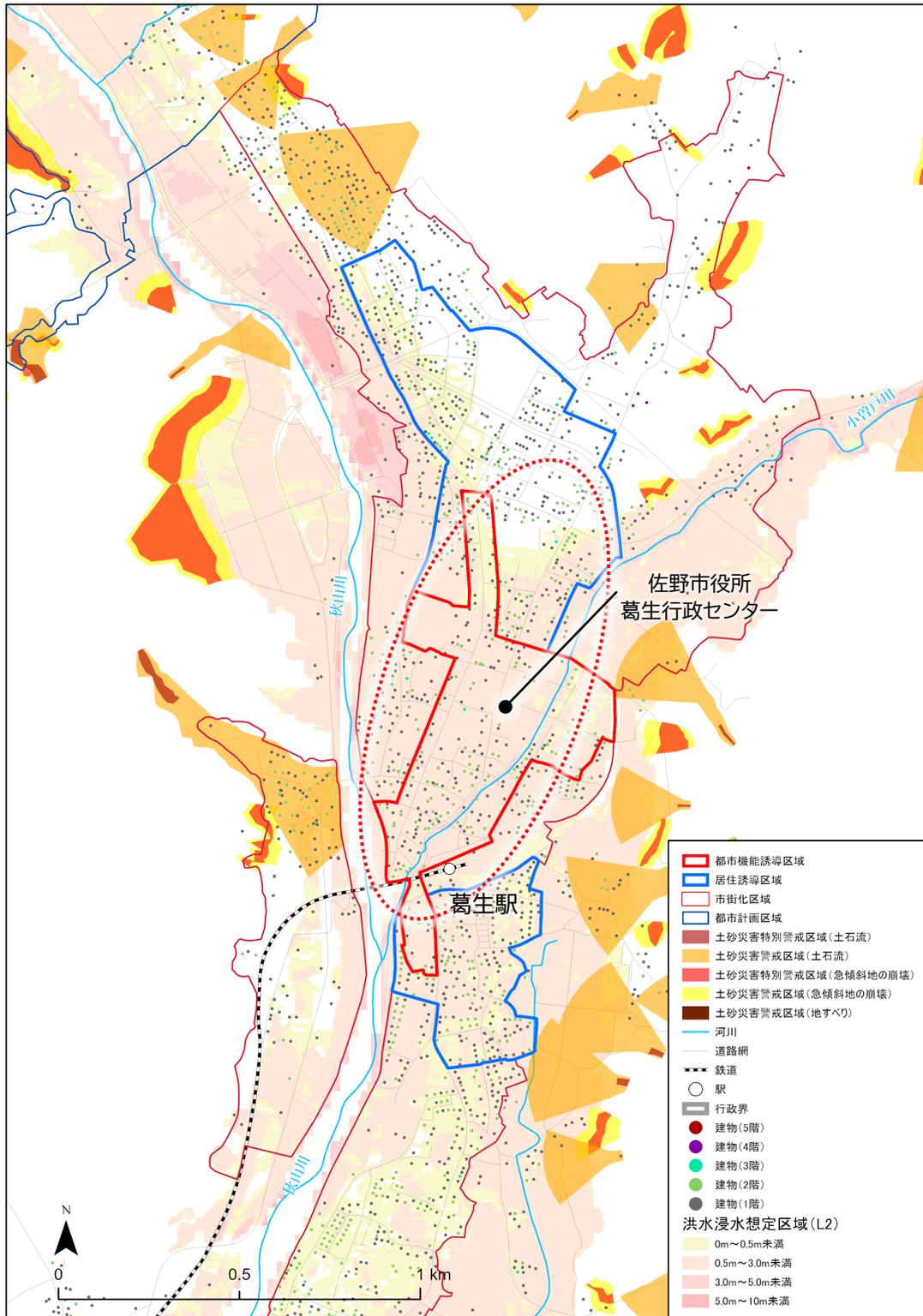


図 5-18 洪水浸水想定区域(L2)×土砂災害(特別)警戒区域×建物階数、建物分布(葛生エリア)

## (2) 洪水浸水想定区域(L2)×指定避難所等

### 1) 佐野エリア・佐野新都市エリア

居住誘導区域において、0.5m未滿の洪水浸水想定区域にいくつかの避難所<sup>※1~3</sup>が立地しており、洪水時には機能障害やアクセスが困難になるおそれがあります。また、避難所からの距離が800mを上回る地域が存在します。

居住誘導区域外においても、洪水浸水想定区域に立地している避難所があり、洪水時には機能障害やアクセスが困難になるおそれがあります。

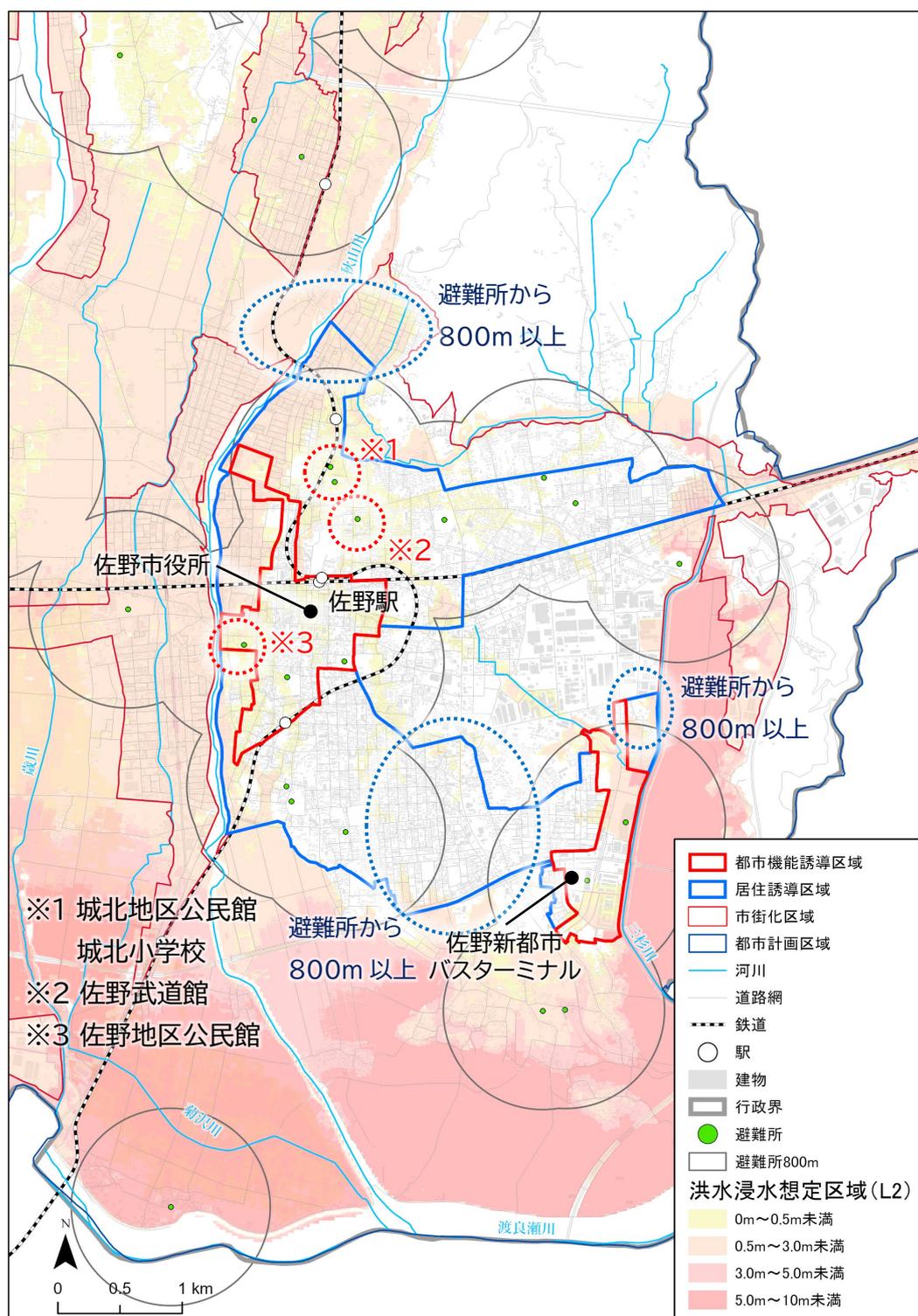


図 5-19 洪水浸水想定区域(L2)×指定避難所等(佐野エリア・佐野新都市エリア)

## 2) 田沼エリア

居住誘導区域内では、田沼小学校※<sup>1</sup> や田沼東中学校※<sup>2</sup>、田沼地区公民館※<sup>3</sup> が避難所に指定されていますが、いずれも 0.5m 未満の洪水浸水想定区域に立地しており、洪水時に機能障害やアクセスが困難になるおそれがあります。また、避難所からの距離が 800m を上回る地域が存在します。

居住誘導区域外では、洪水浸水想定区域に避難所が立地しており、洪水時に機能障害やアクセスが困難になるおそれがあります。

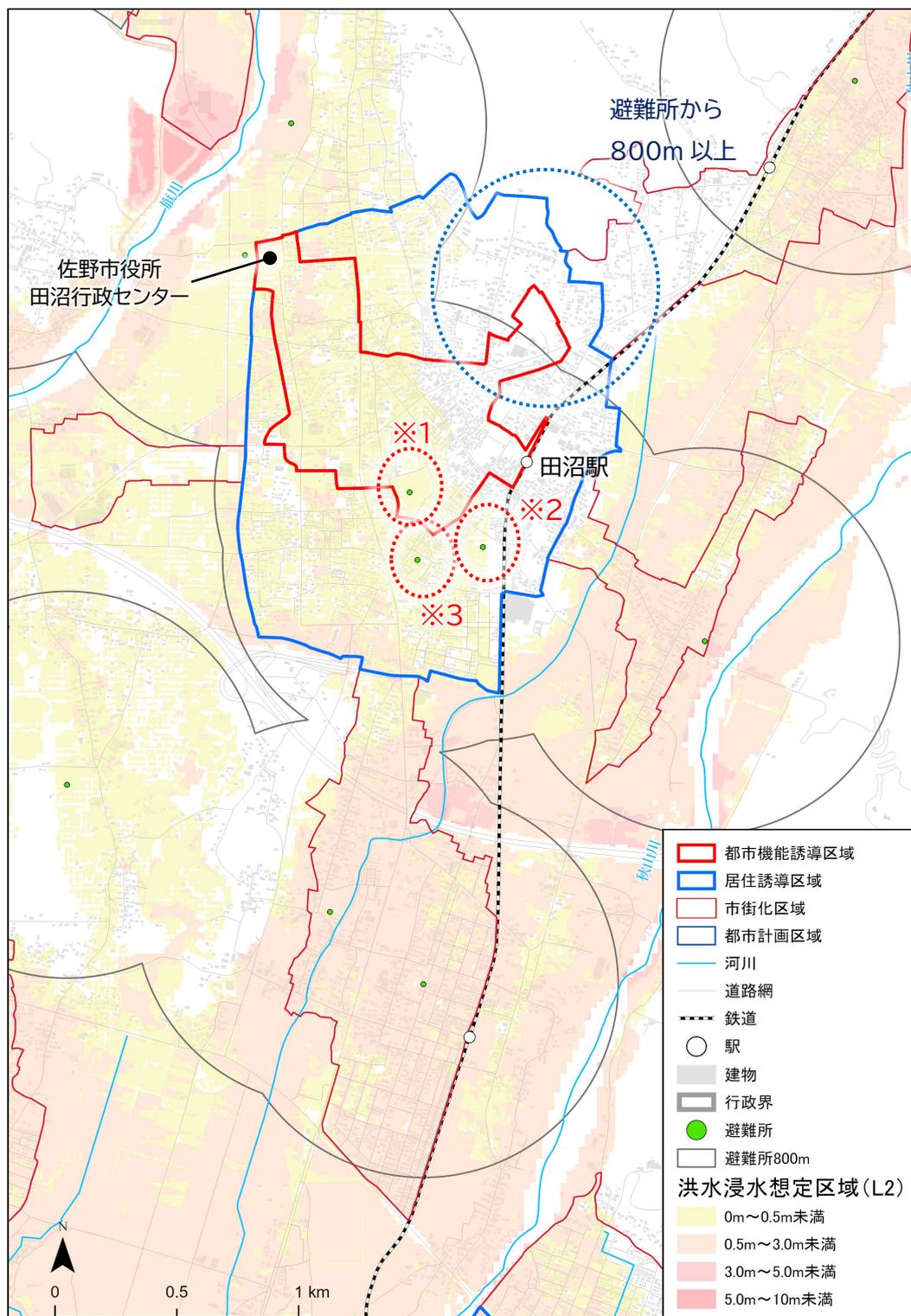


図 5-20 洪水浸水想定区域(L2)×指定避難所等(田沼エリア)

### 3) 葛生エリア

居住誘導区域内では、避難施設となっている葛生小学校※<sup>1</sup>、葛生保育園※<sup>2</sup>、葛生地区公民館※<sup>3</sup>が3.0m未満の洪水浸水想定区域内に立地しています。このうち、葛生保育園は1階建てであり、垂直避難が困難ですが、隣接する福祉施設に2次避難が可能です。なお、この場合も洪水時にはアクセスが困難になるなどの障害が懸念されます。また、避難所からの距離が800mを上回る地域が存在します。

居住誘導区域外では、洪水浸水想定区域に避難所が立地しており、洪水時に機能障害やアクセスが困難になるおそれがあります。

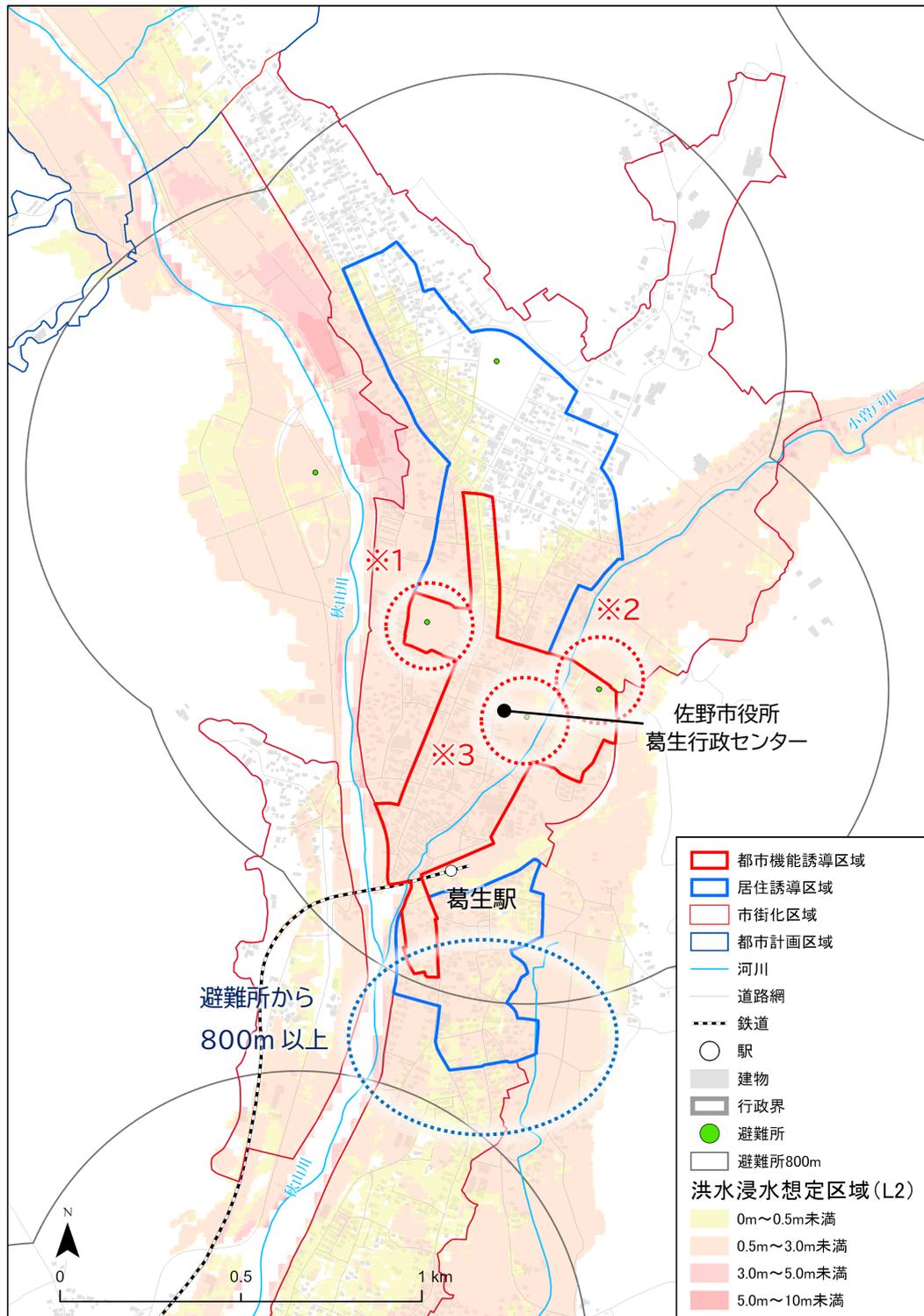


図 5-21 洪水浸水想定区域(L2)×指定避難所等(葛生エリア)

---

### (3) 洪水浸水想定区域(L2)×都市機能施設

#### 1) 佐野エリア・佐野新都市エリア

##### 【行政機能】

市役所本庁舎が立地<sup>※1</sup>しています。周辺は 0.5m 未満の浸水が想定される区域内となっており、大規模な浸水は想定されませんが、洪水発生時に機能障害やアクセスが困難になるおそれがあります。

##### 【医療】

居住誘導区域の西部(秋山川左岸)の 3.0m 未満の洪水浸水想定区域において、佐野厚生総合病院やいくつかの医療機関が立地<sup>※2</sup>しており、洪水発生時に機能障害やアクセスが困難になるおそれがあります。

居住誘導区域外においても、洪水浸水想定区域に、医療機関が立地しており、洪水発生時に機能障害やアクセスが困難になるおそれがあります。

##### 【商業機能】

居住誘導区域の西部(秋山川左岸)<sup>※2</sup>や、新都市の 3.0m 未満の洪水浸水想定区域に、複数の商業施設が立地<sup>※3</sup>しており、洪水発生時に機能障害が生じるおそれがあります。

居住誘導区域外においても、洪水浸水想定区域に、商業施設が立地しており、洪水発生時に機能障害が発生するおそれがあります。

##### 【要配慮者利用施設】

居住誘導区域の西部(秋山川左岸)の 3.0m 未満の洪水浸水想定区域において、要配慮者利用施設が立地<sup>※2</sup>しており、洪水発生時に機能障害やアクセスが困難になるおそれがあります。

居住誘導区域外においても、洪水浸水想定区域に、要配慮者利用施設が立地しており、洪水発生時に機能障害やアクセスが困難になるおそれがあります。

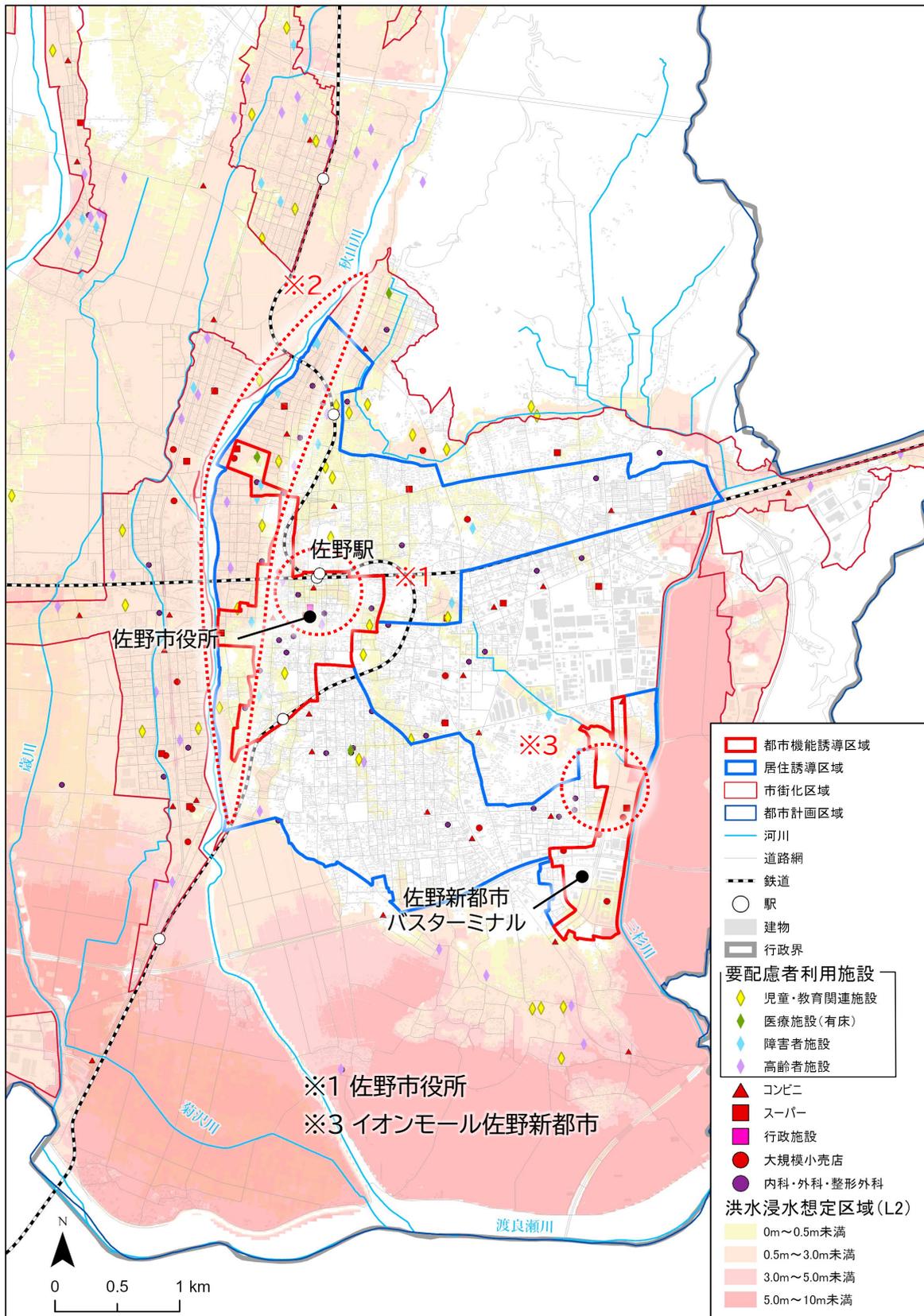


図 5-22 洪水浸水想定区域(L2)×都市機能施設(佐野エリア・佐野新都市エリア)

---

## 2) 田沼エリア

### 【行政機能】

田沼行政センターが 0.5m 未満の浸水が想定される区域に立地<sup>※1</sup>しており、洪水発生時には機能障害やアクセスが困難になるおそれがあります。

### 【医療】

数件の診療所のほか、基幹的な病院である佐野市民病院が都市機能誘導区域内に立地しています。佐野市民病院は洪水浸水想定区域外であり、洪水による直接的な被害は受けませんが、0.5m 未満の洪水浸水想定区域に立地している医療機関が一か所あり、洪水発生時には機能障害やアクセスが困難になるおそれがあります。

居住誘導区域外においても、洪水浸水想定区域に医療機関が立地しており、洪水発生時に機能障害やアクセスが困難になるおそれがあります。

### 【商業機能】

都市機能誘導区域の西部の商業施設群について、0.5m 未満の浸水が想定される区域に立地<sup>※2</sup>しており、洪水発生時には機能障害が生じるおそれがあります。

居住誘導区域外においても、洪水浸水想定区域に商業施設が立地しており、洪水発生時に機能障害が発生するおそれがあります。

### 【要配慮者利用施設】

居住誘導区域内では、3.0m 未満の洪水浸水想定区域にいくつかの施設が立地しており、洪水発生時には機能障害やアクセスが困難になるおそれがあります。

居住誘導区域外においても、洪水浸水想定区域に要配慮者利用施設が立地しており、洪水発生時に機能障害やアクセスが困難になるおそれがあります。

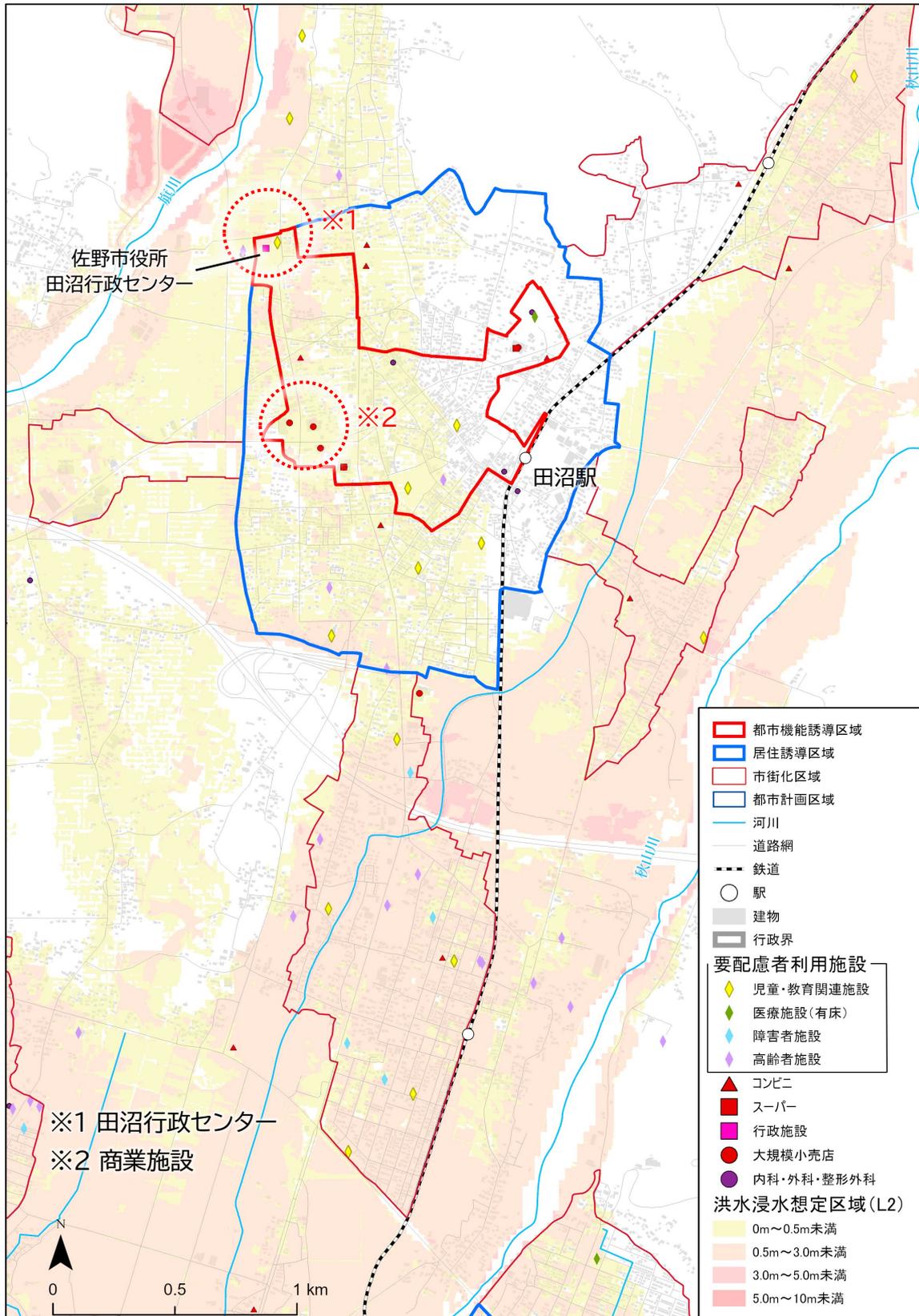


図 5-23 洪水浸水想定区域(L2)×都市機能施設(田沼エリア)

---

### 3) 葛生エリア

#### 【行政機能】

葛生行政センターが 3.0m 未満の浸水が想定される区域内に立地<sup>※1</sup>しており、洪水発生時には機能障害やアクセスが困難になるおそれがあります。

#### 【医療】

都市機能誘導区域内に医療施設が 1 件立地<sup>※2</sup>しているが、3.0m 未満の洪水浸水想定区域内であり、洪水時には機能障害やアクセスが困難になるおそれがあります。

居住誘導区域外においても、洪水浸水想定区域に医療機関が立地しており、洪水発生時に機能障害やアクセスが困難になるおそれがあります。

#### 【商業機能】

都市機能誘導区域南端に商業施設が立地<sup>※3</sup>していますが、3.0m 未満の洪水浸水想定区域内であり、洪水時には機能障害が発生するおそれがあります。

#### 【要配慮者利用施設】

居住誘導区域内に立地している施設はいずれも 3.0m 未満の洪水浸水想定区域に立地<sup>※2</sup>しており、洪水時には機能障害やアクセスが困難になるおそれがあります。

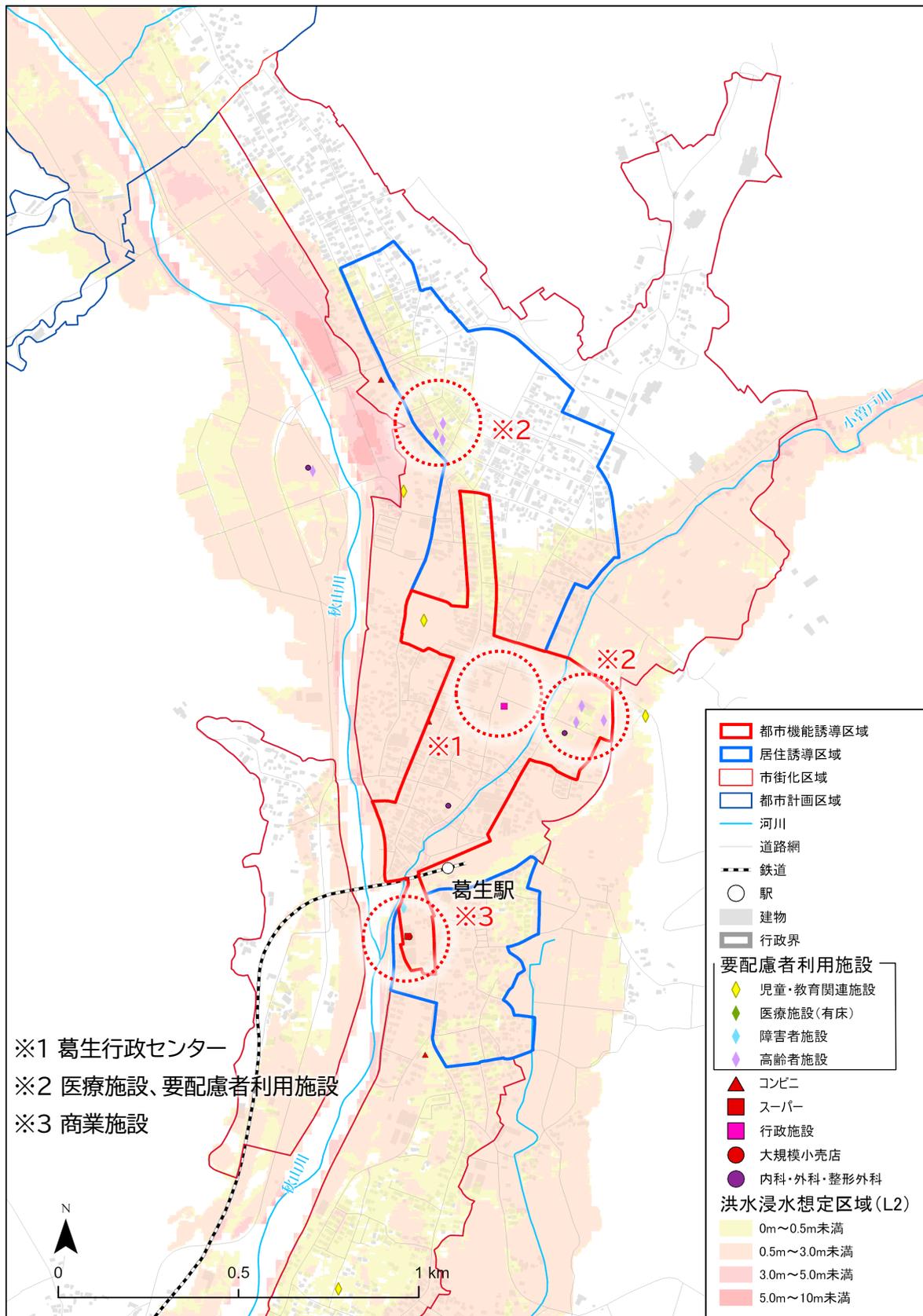


図 5-24 洪水浸水想定区域(L2)×都市機能施設(葛生エリア)

#### (4) 洪水浸水想定区域(L2)×土砂災害(特別)警戒区域×人口分布

##### 1) 佐野エリア・佐野新都市エリア

居住誘導区域の西部(秋山川左岸)<sup>※1</sup>で3.0m未滿の洪水浸水想定区域になっている区域で、人口密度が30人～60人/ha程度となっています。また、東端部(関川町付近)<sup>※2</sup>の5.0m未滿の洪水浸水想定区域において、人口密度が60人/ha～程度となっています。

居住誘導区域外においても、一定の人口密度がある地域において、洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域(土石流)となっている地域があります。

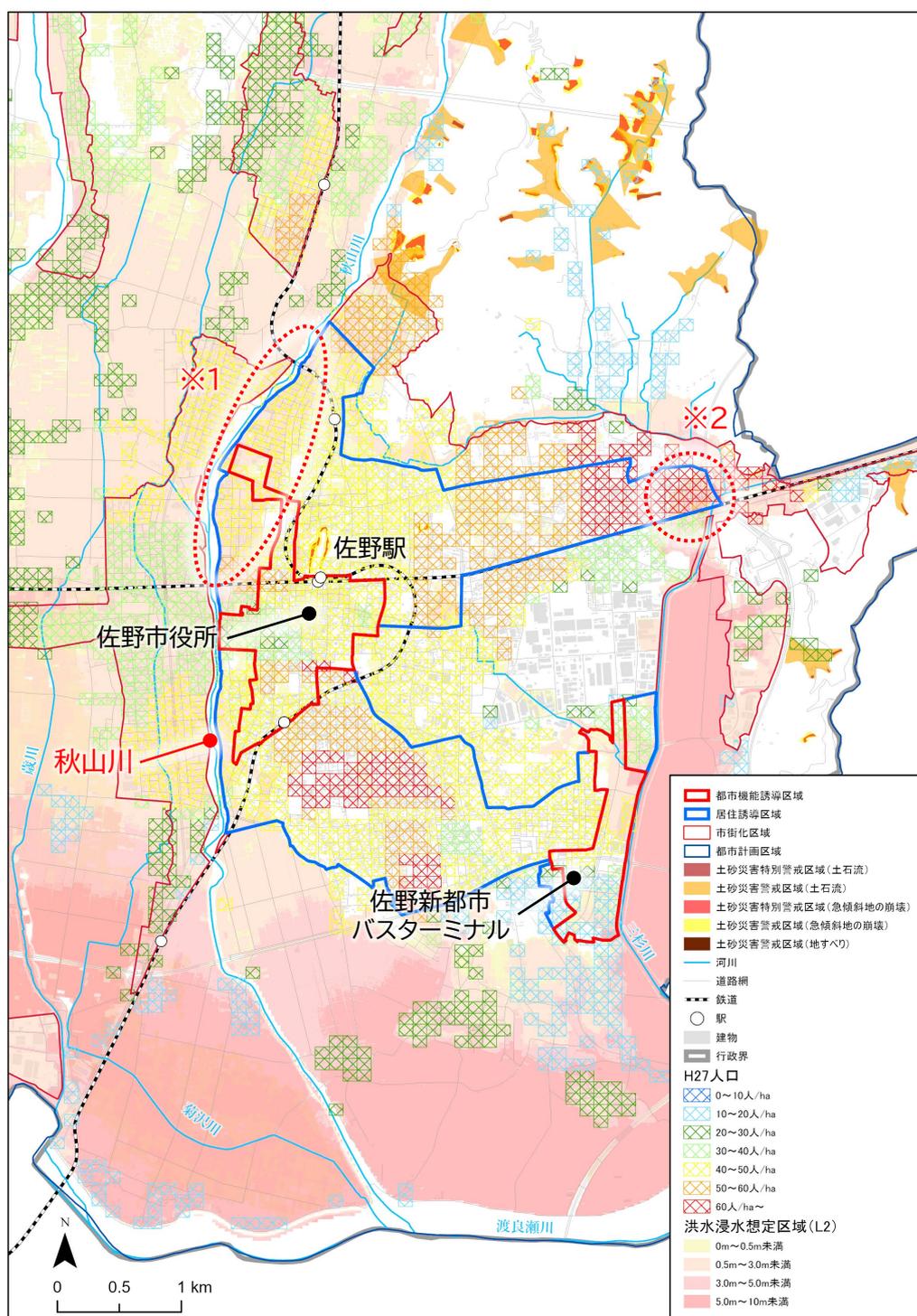


図 5-25 洪水浸水想定区域(L2)×土砂災害(特別)警戒区域×人口分布  
(佐野エリア・佐野新都市エリア)

## 2) 田沼エリア

居住誘導区域内全体にわたって人口密度は 30~40 人/ha 程度であり、居住誘導区域の西半分が、0.5m 未満の洪水浸水想定区域となっています。

居住誘導区域外においても、一定の人口密度がある地域において、洪水浸水想定区域となっている地域があります。

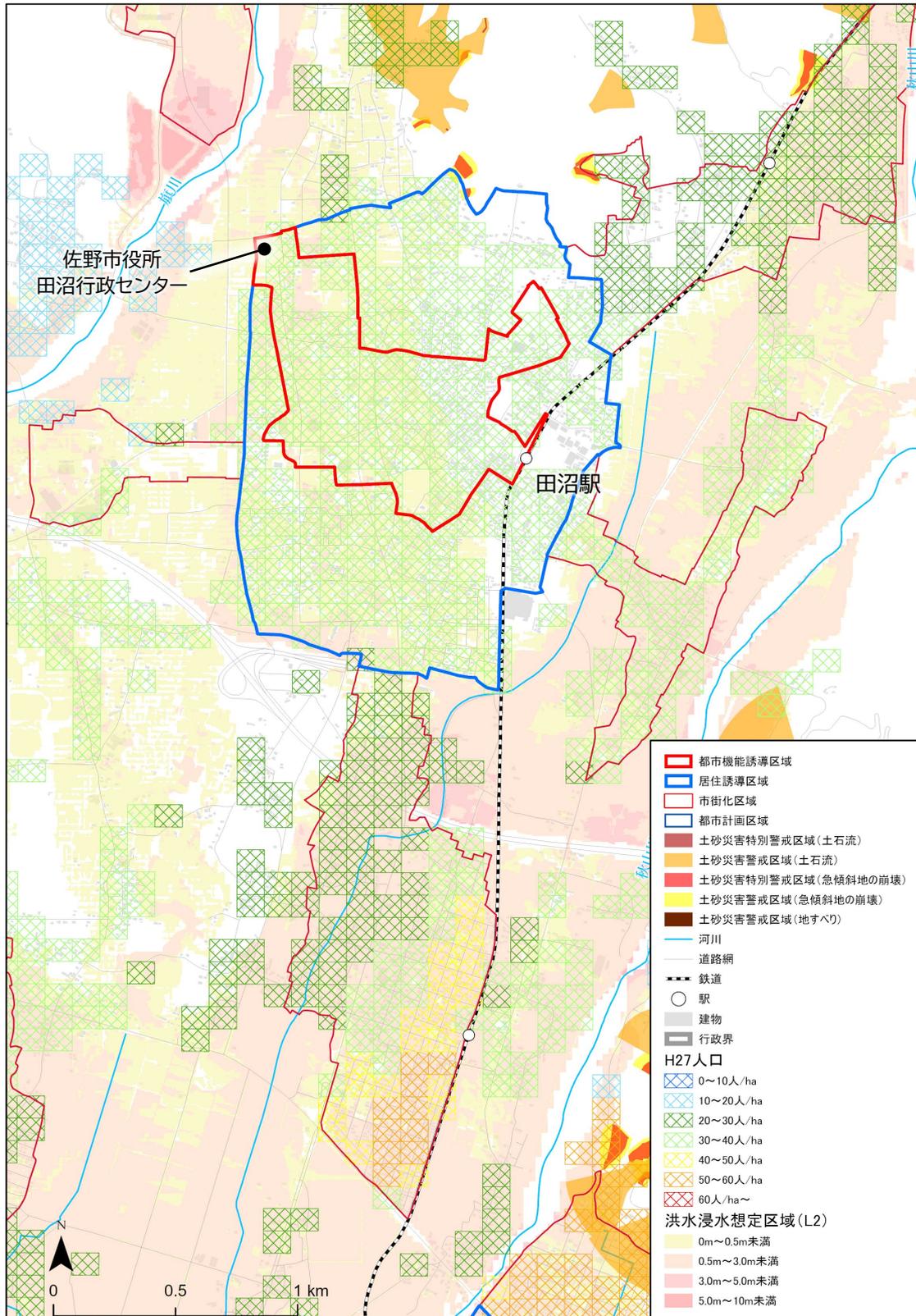


図 5-26 洪水浸水想定区域(L2)×土砂災害(特別)警戒区域×人口分布(田沼エリア)

### 3) 葛生エリア

居住誘導区域の南部において、3.0m 未満の洪水浸水想定区域で、人口密度が 20~40 人/ha となっています。

居住誘導区域外においても、一定の人口密度がある地域において、洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域(土石流)となっている地域があります。

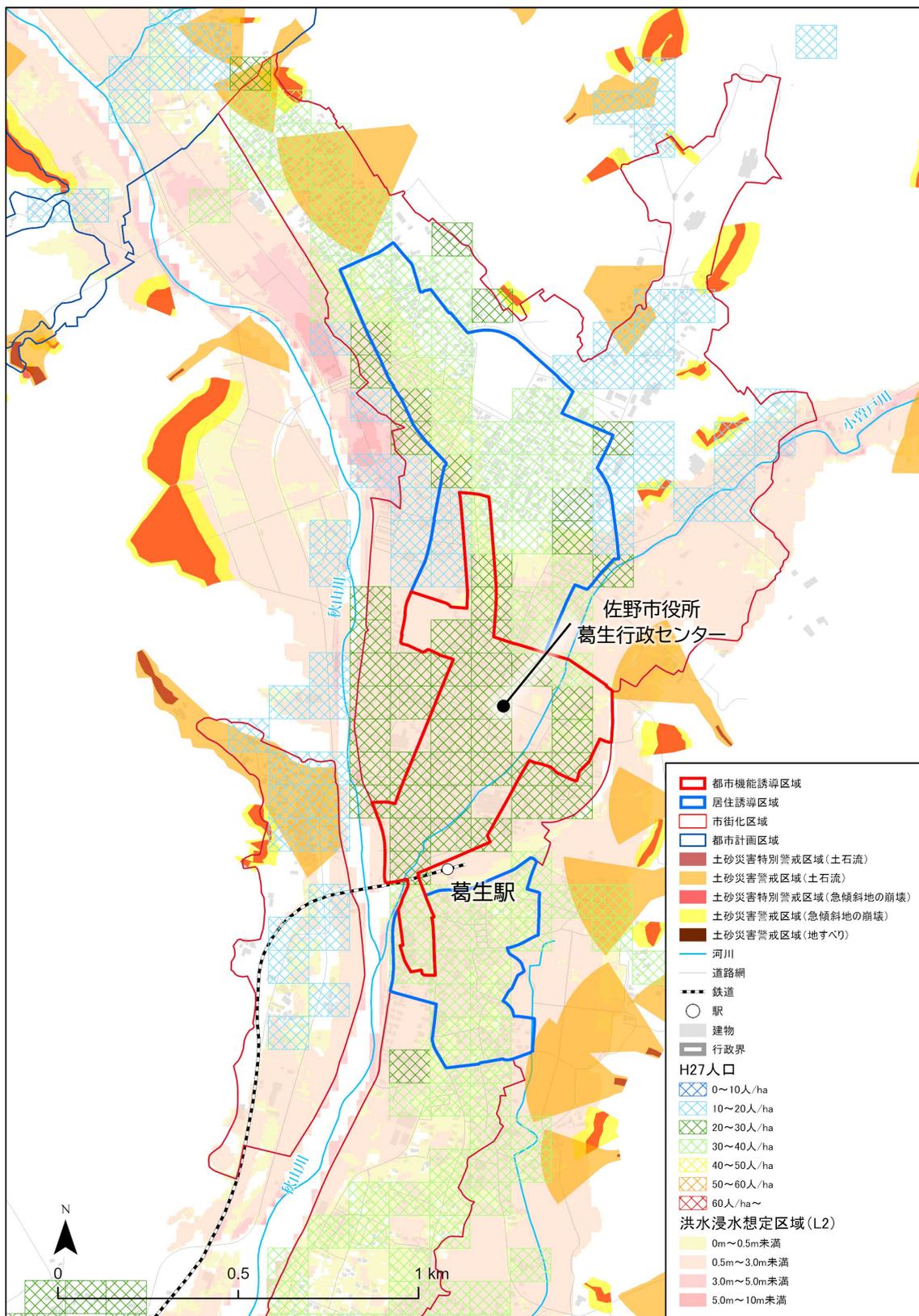


図 5-27 洪水浸水想定区域(L2)×土砂災害(特別)警戒区域×人口分布(葛生エリア)